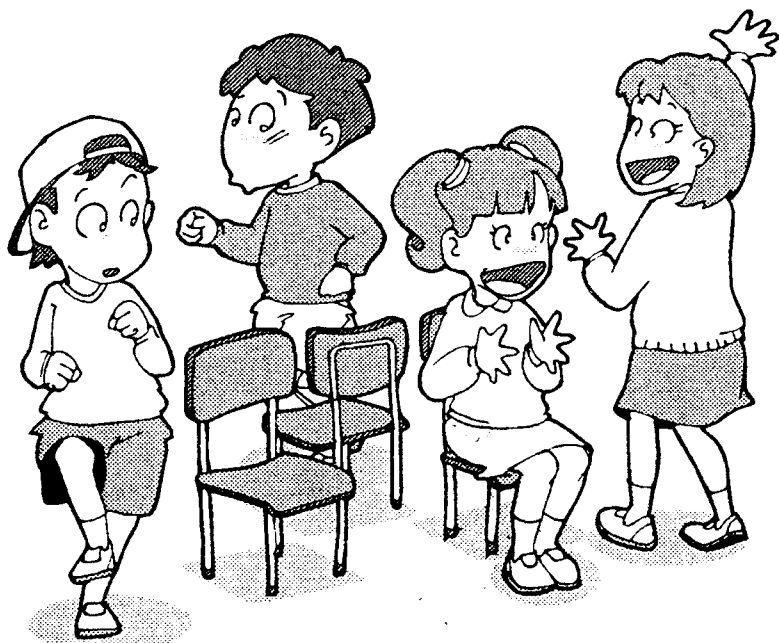


あそびのししぴ



最後までみんな一緒に

いす取り「ファスナー」

いすがあって、みんなできの遊びといえば「いす取りゲーム」。けれど、人数より少ない、いすに座れなかった人はその場でゲームセット。

壁に寄り掛かってみんなを見ているしかありません。また、勝ち残って頑張っている人も、みんなの注目を浴び、何となく恥ずかしさを感じてしまふことでもあります。みんな一緒に楽しめよう。

まじことあります。みんな楽しんでそこで、しらすうなこのゲーム。けれども、今回のいす取りゲームはちょっと違います。名付けていす取りゲーム「ファスナー」編。

【人数】10人以上

【場所】いすを10—20脚並べられる広さ

【道具】背もたれのあるいす

【遊び方】

①人数より1脚少ないいすを用意。通常は円形に並べるところを、今回はいすの向きが交互に反対を向くよう、ファスナーのように並べる。

②いすの周囲を回り、合図とともに空いている席に座る。反対向きに並んでいるいすを乗り越えて座ってはいけない。

③座れなかった人は通常、外に出たりするが、次のゲームを始める前にいすのどこかに座る。いすを減らす代わりに、座れなかった人がいすを埋めていく。こうすれば、負けた人もゲームに参加できる。

④一つ少ないいすでゲームを再開。仲間が駆け回っている間、負けた人は拍手係として手拍子を入れて励ます。

⑤最後に残った2人に、みんなで盛大な拍手を送り、ゲームセット。

⑥1脚ではなく2脚ずつ減らす方法でも楽しめる。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363